

平成 19 年 10 月 15 日

厚生労働大臣
舩添要一 殿

日本病院団体協議会
議長 鮫島 健

「病院経営の現況調査」報告について

日本病院団体協議会では、先般、平成 20 年度の診療報酬改定に向けての要望事項をとりまとめ、貴省に提出させていただいたところであります。

病院運営をとりまく状況は前回のマイナス改定により極めて厳しいものであると認識しており、会員病院から経営悪化、医師不足、看護師不足、病棟閉鎖などの問題が報告されております。

このような状況を踏まえて、今般、病院経営の実態把握のため本協議会に加盟する 11 団体の全会員病院を対象に、「病院経営の現況調査」を実施いたしました。

本日、別添のとおりとりまとめましたのでご報告申し上げます。

調査の結果、病院経営の悪化の状況、医師・看護師不足の深刻化等々、病院医療崩壊の実態が明らかになり、国民が等しく、安心して受けられる医療を提供することは極めて困難な状況に陥っています。

このような状況を早急に改善するため下記項目についてご理解を賜り、特に平成 20 年度診療報酬改定にあたり、特段のご配慮をお願い申し上げます。

記

- 1 . 医療費総枠の拡大
- 2 . 病院医療に対する診療報酬上の重点的評価
- 3 . 産婦人科・小児科・救急医療等医療政策に関わる公私の区別のない補助対象の拡大
- 4 . 大幅な増員による勤務環境の整備

以上